

【シンポジウム】

天然
記念物

和泉葛城山ブナ林の
過去 現在 未来 を語る

「地域の宝物」和泉葛城山ブナ林を、地元の方をはじめ、多くの皆さんに知っていただくため、昨年度のシンポジウムでは、樹齢300年のブナ標本の解説、歴史と現状について考察しました。今回は、ブナ林保護増殖の歩みとともに、今動いている調査の狙いと結果、生データを基に、ブナ林の現状を語ります。そして今後の保全のあり方を、皆さんと考えていきます。

◆ 基調講演「ブナ林保護増殖の経過」 三重県総合博物館特別顧問 布谷 知夫

◆ 調査報告「ブナの結実・芽生え・若木の生育など、調査結果からわかったこと」

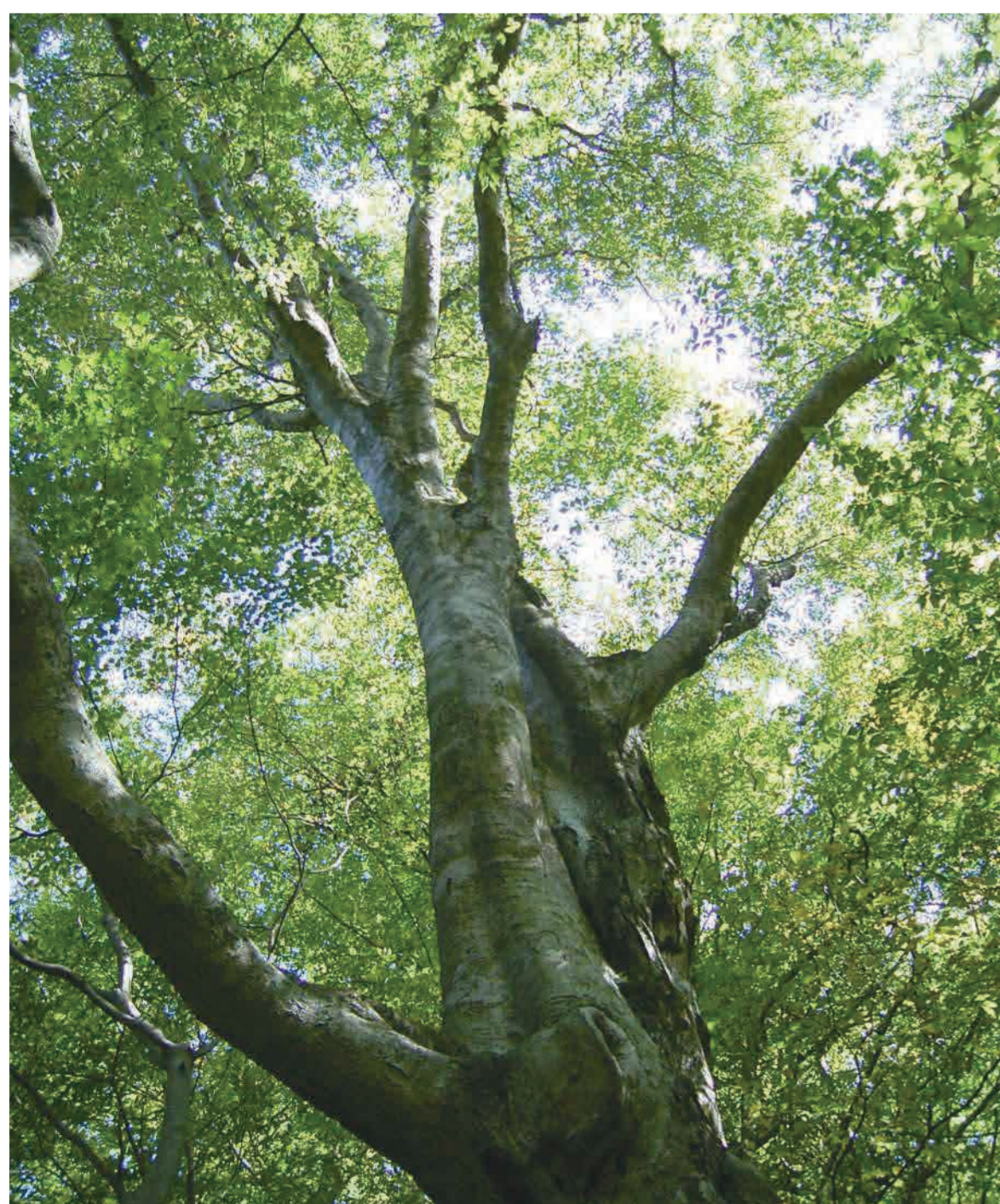
貝塚市文化財保護審議会委員 田中 正視

◆ パネルディスカッション

〈パネリスト〉 布谷 知夫 ・ 田中 正視 ・ 岡本 素治 (きしわだ自然資料館館長) ・

前中 久行 (NPO法人緑の地球ネットワーク代表) ・ 森川 利信 (阪南大学非常勤講師)

〈コーディネーター〉 佐久間 大輔 (大阪市立自然史博物館学芸課長代理)



ブナは冷涼な環境を好む樹木といわれます。しかし和泉葛城山のブナ林は、分布の南限圏にあり、標高の低い温暖なところで森林を形成しています。そういった特徴が、学術的にも貴重だということで、大正12年(1923年)に国の天然記念物に指定されました。昨今、ブナ林の衰退が進みつつあるといわれています。この貴重なブナ林を守るための保護増殖事業が今も続けられています。

【日時】 2020年 2月22日 土
14:00~16:30 (開場:13:30)

【会場】 貝塚市教育研究センター研修室

(大阪府貝塚市二色3-25-5) 南海本線「貝塚駅」東口
水鉄バス「二色産業団地行」→「市民の森」下車 徒歩3分
(13:00発もしくは13:30発のバスにご乗車ください)

定員：50名〈要申込〉

参加費：無料

【申込先】 公益財団法人大阪みどりのトラスト協会

〈専用申込フォーム〉 <http://bit.ly/ogt2020buna>

〈TEL〉 06-6614-6688 〈FAX〉 06-6614-6689

〈Eメール〉 midori@ogtrust.jp

※ FAX・メールでお申込の場合は、「ブナシンポジウム」と明記の上、お名前、ふりがな、(ご所属)、お電話番号、E-mailアドレス、お住いの市町村をお知らせください。



スマホで
QRコードを
読み込んで
お申込み

【主催】 貝塚市教育委員会・岸和田市教育委員会・公益財団法人大阪みどりのトラスト協会

【後援】 大阪府(予定)

【協力】 大阪市立自然史博物館(予定)・地方独立行政法人大阪府立環境農林水産総合研究所生物多様性センター(予定)